

令和3年10月吉日

会員 各位

公益社団法人 日本文化財保護協会
理事長 長谷川 渉
技術研修委員長 河合 英夫

令和3年度第1回技術研修会開催のご案内

拝啓 錦秋の候、貴社におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

南関東支部主催の第1回技術研修会を開催いたしますので、会員所属の埋蔵文化財調査士・調査士補・調査員・測量計測員等の皆様にご案内いたします。

講師は、パリノ・サーヴェイ株式会社顧問の橋本眞紀夫先生、株式会社古環境研究センター代表取締役の杉山真二先生の2名をお願いいたしました。

橋本先生には、発掘調査における遺跡層序の捉え方について講義していただきます。

杉山先生には、令和元年度に技術研修会（福岡県）で講義いただいた遺跡堆積物に含まれる植物珪酸体の分析とその活用について、改めて講義していただきます。

第一線で活躍されている貴社の技術者の皆様には是非ともご案内をいただき、参加を督促下さいますよう、よろしくをお願いいたします。

なお、今回の研修会では、協会主催の継続教育（CPD）制度として20ポイントを配点しておりますので、貴社の資格者には是非ともこの機会に取得するようご指導のほどお願い申し上げます。

なお、システムの都合上、先着80名とさせていただきますので、お早めに協会事務局までお申し込み下さい。

敬 具

問合せ

公益社団法人日本文化財保護協会
事務局 赤堀

電 話 03-6206-2190

メール info@n-bunkazaihogo.jp

記

1. 趣旨・目的

埋蔵文化財調査における層序および自然科学分析とその活用についての理解の向上を目的とする。

2. 日 時

令和3年11月28日(日) 午前10:30～午後14:30

※ログイン受付時間(予定): 午前9:00～

講義Ⅰ 午前10:30～12:00 講義Ⅱ 午後13:00～14:30

3. 講演方法

オンライン方式(ZOOM)により実施 / 参加費無料

4. 講 師・テーマ(座学)

講義Ⅰ 橋本 眞紀夫 氏: パリノ・サーヴェイ株式会社 顧問
「遺跡層序の捉え方」

講義Ⅱ 杉山 信二 氏: 株式会社古環境研究センター 代表取締役
「遺跡調査における植物珪酸体(プラント・オパール)分析の活用と課題
ー農耕史・植生史・気候環境史の解明に向けてー」

5. 受講対象者

会員所属の埋蔵文化財調査士・調査士補・調査員・測量計測員等

6. 申込方法

送 信 先 : info@n-bunkazaihogo.jp

申 込 締 切 : 令和3年11月22日(月)17:00まで 先着80名

記 載 事 項 : ① 氏名 ② 所属先 ③ メールアドレス ④ 連絡先

※1台のPCで複数人が受講をすることも可能です。

その場合は、代表者が複数名分の応募をしてください。記載事項①と②は全員、③と④はログインをする方のみを明記してください(先着順・定員制のため、申込後のログインする方の数は原則増やせません)。

【受講に関する注意事項】

1. お使いになるPCは、カメラ・マイク機能が必要です。予め、内蔵型PCや外付けのカメラ・マイクをご用意ください。
2. 1台のPCで複数人が受講をする場合は、ログイン時(出欠確認)・受講中は出席者全員をカメラで映すことが出席の条件となります。